

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和4年11月調査)

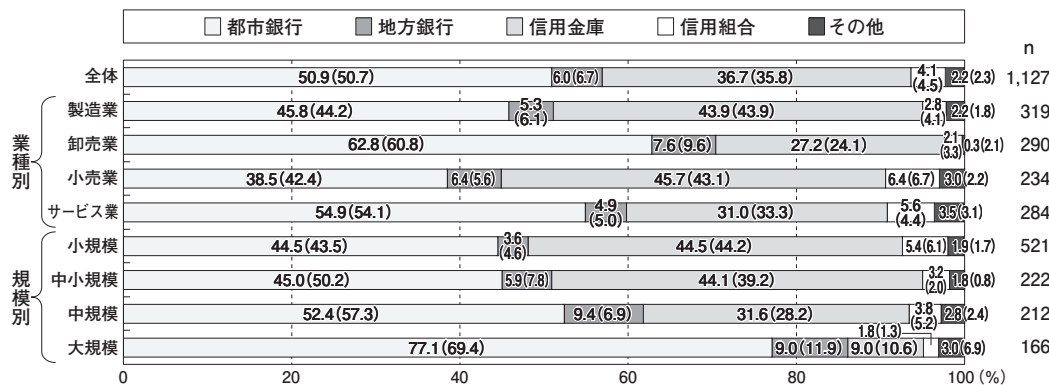
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が50.9%（前回調査50.7%）で最も高く、「信用金庫」が36.7%（同35.8%）、「地方銀行」が6.0%（同6.7%）、「信用組合」が4.1%（同4.5%）の順となった。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が62.8%（同60.8%）と最も高く、小売業は「信用金庫」が45.7%（同43.1%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は77.1%（同69.4%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

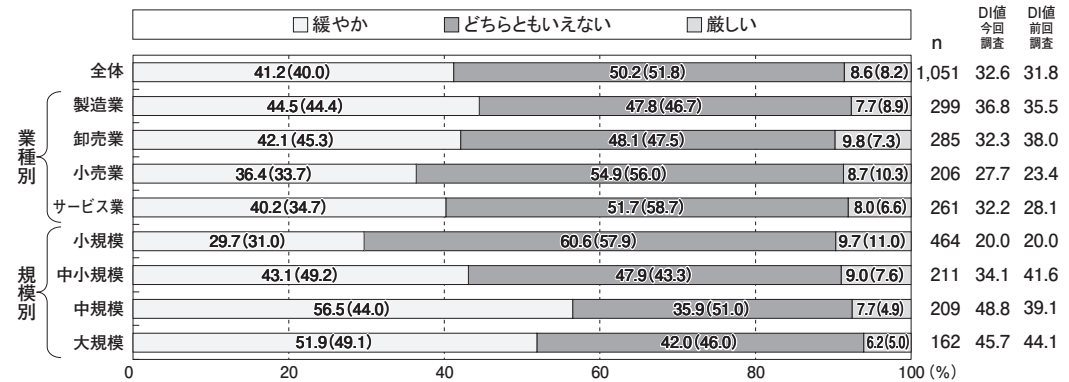
2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値(「緩やか」-「厳しい」)でみると、全体では32.6(前回調査31.8)となり、前回調査と比べて0.8ポイント増加した。

業種別にDI値をみると、製造業、小売業、サービス業で増加した。一方、卸売業32.3(同38.0)は5.7ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、中規模48.8(同39.1)は9.7ポイント増加、大規模45.7(同44.1)は1.6ポイント増加した。小規模20.0(同20.0)は横ばいで推移した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

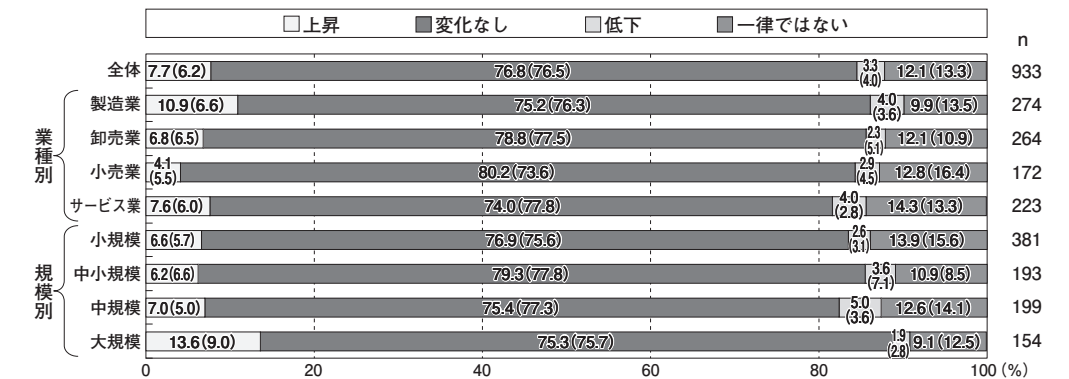
3. 主な取引金融機関からの借入金利

(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が76.8%（前回調査76.5%）と最も高い。また、「上昇」が7.7%（同6.2%）となり、「低下」の3.3%（同4.0%）を前回に引き続き上回った。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「上昇」が10.9%（同6.6%）と高い。規模別にみると、大規模は「上昇」が13.6%（同9.0%）となり、4.6ポイント増加した。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

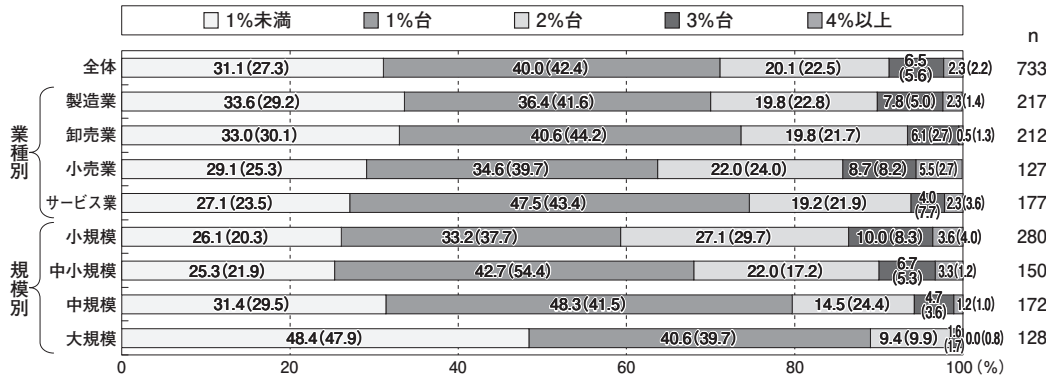
(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1%台」が40.0%（前回調査42.4%）と最も高く、「1%未満」が31.1%（同27.3%）、「2%台」が20.1%（同22.5%）の順で続いた。

業種別にみると、小売業は2%以上が36.2%（同34.9%）と3割を超える。

規模別にみると、規模が小さくなるほど2%以上が高くなり、小規模は40.7%（同42.0%）となった。

図表4 金利水準



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年5月)の数値。
3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

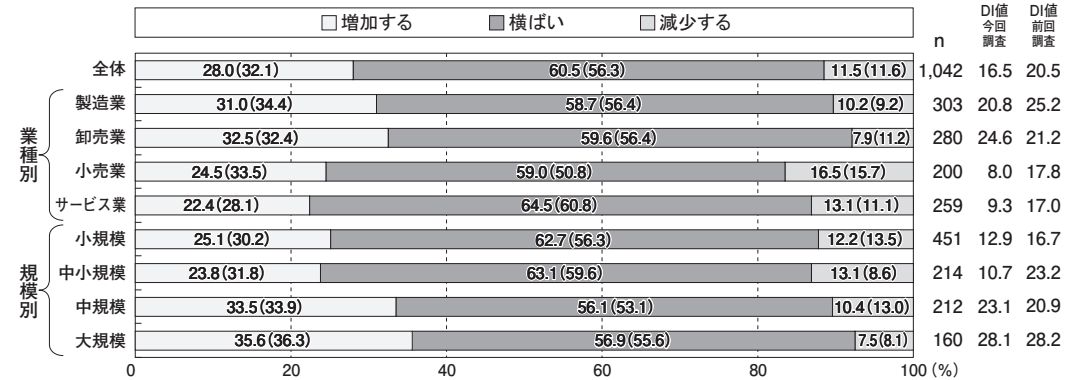
(1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値(「増加する」-「減少する」)でみると、全体では16.5(前回調査20.5)と前回調査と比べて4.0ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業、小売業、サービス業で減少した。なかでも小売業8.0(同17.8)は9.8ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、中小規模10.7(同23.2)は12.5ポイント減少した。

図表5 資金需要(今後3か月間)

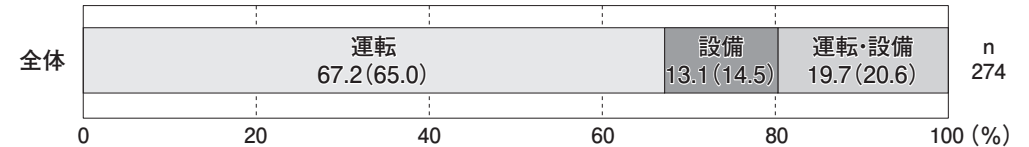


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年5月)の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が67.2%（前回調査65.0%）と最も高く、「運転・設備」が19.7%（同20.6%）、「設備」が13.1%（同14.5%）となった。前回調査と比べて「運転」は2.2ポイント増加し、「設備」が1.4ポイント減少した。

図表6 資金使途

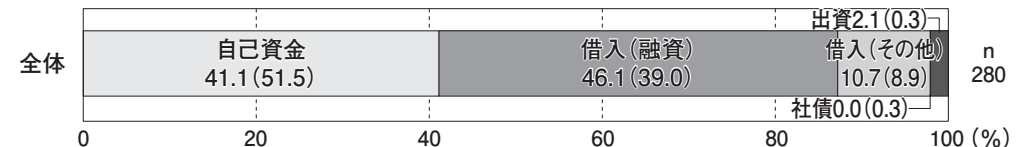


注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
()内は前回調査(令和4年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「借入(融資)」が46.1%（前回調査39.0%）と最も高く、次いで「自己資金」が41.1%（同51.5%）となった。前回調査と比べて「自己資金」は10.4ポイント減少し、「借入(融資)」が7.1ポイント増加した。

図表7 調達手段



注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
()内は前回調査(令和4年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

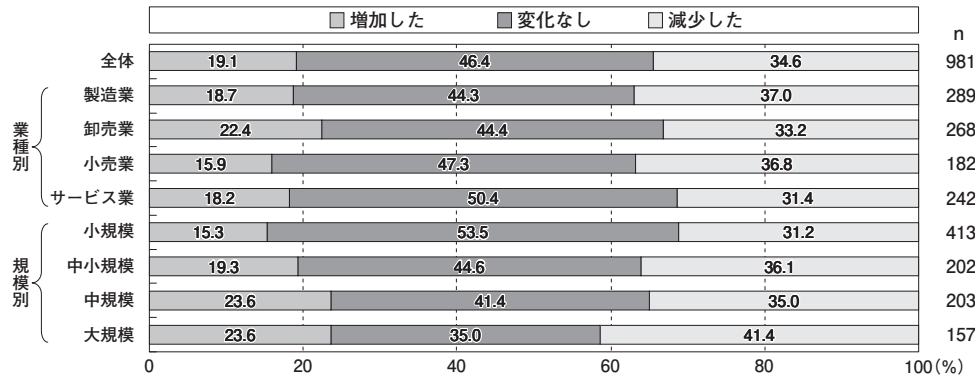
(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が46.4%と最も高く、「減少した」が34.6%、「増加した」が19.1%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「増加した」が22.4%と高く、製造業は「減少した」が37.0%と高い。

規模別にみると、大規模は「減少した」が4割を超える。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

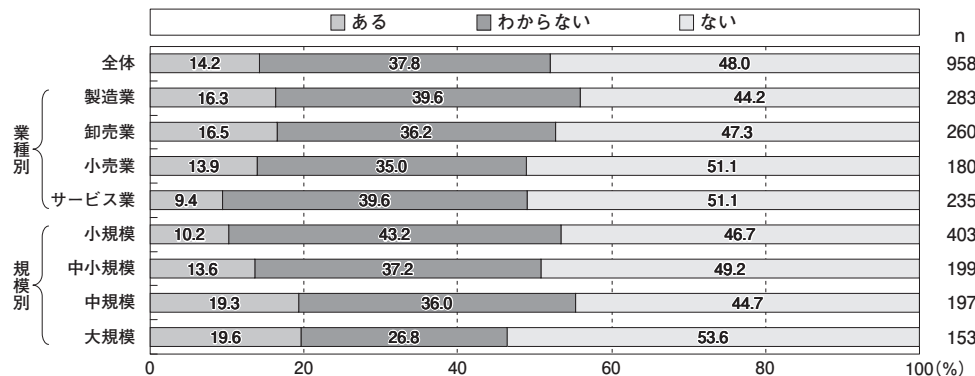
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が48.0%と最も高く、「わからない」が37.8%、「ある」が14.2%の順となった。

業種別にみると、小売業とサービス業は「ない」がともに5割を超える。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「ある」が高くなり、大規模は19.6%となった。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。